

Lenovo



ThinkSmart Hub for Zoom Rooms

デプロイメントガイド

Version 1.0



目次

[第1章 ThinkSmart Hubについて](#)

[1.0 外観](#)

[1.1 パッケージに含まれるもの](#)

[1.2 パッケージに含まれていないもの](#)

[1.3 ネットワーク構成に関する注意点](#)

[1.3.1 プロキシ設定](#)

[第2章 セットアップ](#)

[第3章 初期設定](#)

[3.1 初期設定](#)

[3.2 Windowsアカウント](#)

[第4章 Zoom Roomsアカウントの初期設定](#)

[第5章 デバイスを最新状態に更新](#)

[第6章 Zoom Roomsにサインイン](#)

[6.1 Zoom Roomsにサインイン](#)

[6.2 周辺機器と接続して利用する場合](#)

[第7章 Zoom Roomsの利用](#)

[7.1 インスタント会議を開始](#)

[7.2 予約された会議に参加](#)

[7.3 ミーティングIDを使って会議に参加設定](#)

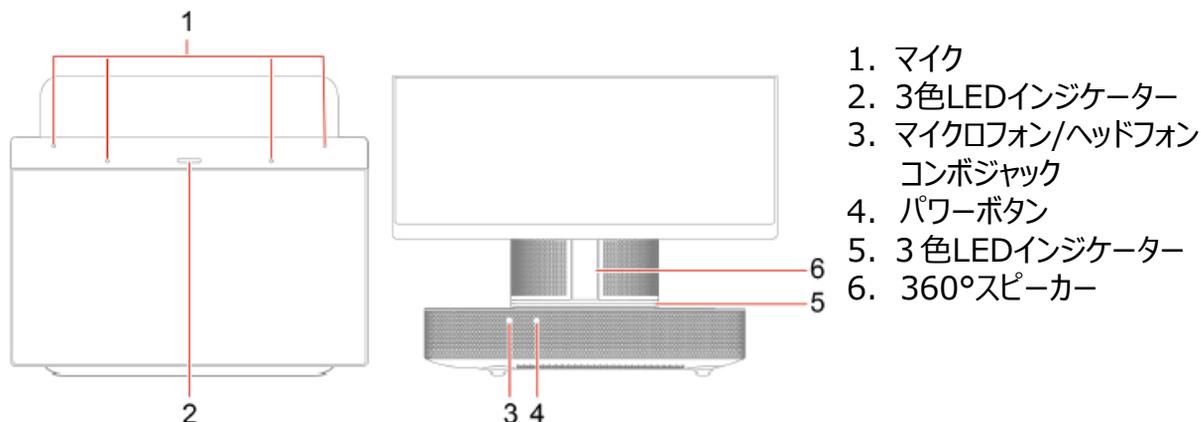
[7.4 画面共有](#)

[7.5 会議中のコントロール](#)

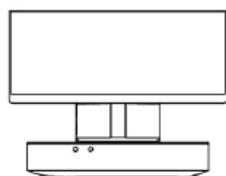
[第8章 アップデートと初期化](#)

第1章 ThinkSmart Hubについて

1.0 外観



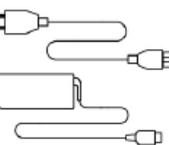
1.1 パッケージに含まれるもの



ThinkSmart Hub



ケーブル管理コネクタ



電源アダプター

1.2 パッケージに含まれていないもの

下記の内容は同梱されていません。必要に応じてご用意ください。

アイテム	おすすめ
外部HDMI 対応ディスプレイ (最大2 台まで接続可能)	40 インチ以上のシングルHDMI対応ディスプレイ
RJ45 イーサネットケーブル (インターネット/ イン트라ネット)	—
Zoom Rooms ライセンス	https://zoom.us/jp-jp/zoomrooms.html

ThinkSmart Hub は無線LAN に標準対応していますが、設置環境により接続が不安定になる場合があります。安定した接続には、Ethernet による有線LAN 接続を推奨します。

1.3 ネットワーク構成に関する注意点

Zoom Rooms を正常に動作させるためには、ネットワーク要件を満たす必要があります。利用開始前に、利用要件を満たしているかご確認ください。

詳細についてはZoom Roomsの開発元であるZoomの公式サイトをご参照ください。

<https://support.zoom.us/hc/en-us/categories/200108436-Zoom-Rooms>

・ファイアウォールの要件

プロトコル	ポート番号	用途
UDP	3478, 3479, 8801	Zoom Roomsからクラウドへ
TCP	8801, 8802, 443	Zoom Roomsからクラウドへ
TCP	8888	クライアントからZoom Roomsへ (直接共有)
UDP	8889	クライアントからZoom Roomsへ (直接共有)

・ネットワーク帯域幅の要件

種類	ダウンロード/アップロード(推奨)
外付けディスプレイ 1 枚と接続する場合	2.0 Mbps / 2.0 Mbps
外付けディスプレイ 2 枚と接続する場合	2.0 Mbps / 4.0 Mbps

1.3.1プロキシ設定

ThinkSmart Hub for Zoom Roomsにプロキシ接続の設定が必要な場合には、以下の手順を参考に設定が可能です。

詳しい説明は [プロキシ接続設定ガイド - ThinkSmart Hub for Zoom Rooms](#)をご参考ください。

https://download.lenovo.com/mobilesjp/thinksmart_hub_for_zoom_rooms_proxy_connection_setting_guide.pdf

1. ZoomRoomsAdminアカウントでログイン
2. レジストリ エディターを開く
3. ユーザー「ZoomRooms」のハイク（設定ファイル（C:¥Users¥ZoomRooms¥NTUSER.DAT）を読み込む
4. 「ZoomRooms」のレジストリを修正してプロキシ設定
「HKEY_USERS¥ZoomRooms¥Software¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Internet Settings」の下に「MigrateProxy」、「ProxyEnable」、「AutoConfigURL」もしくは「ProxyServer」を下記の値に設定

スクリプト（PAC）を使う場合

名前	値のデータ	表記
MigrateProxy	1	16 進数(H)
ProxyEnable	1	16 進数(H)
AutoConfigURL	http://[お客様ドメイン]/proxy.pac	NA

IPアドレス直指定の場合

名前	値のデータ	表記
MigrateProxy	1	16 進数(H)
ProxyEnable	1	16 進数(H)
ProxyServer	プロキシサーバー名（もしくはIPアドレス）とポート番号	NA

5. 「ZoomRooms」に設定したハイクをアンロード

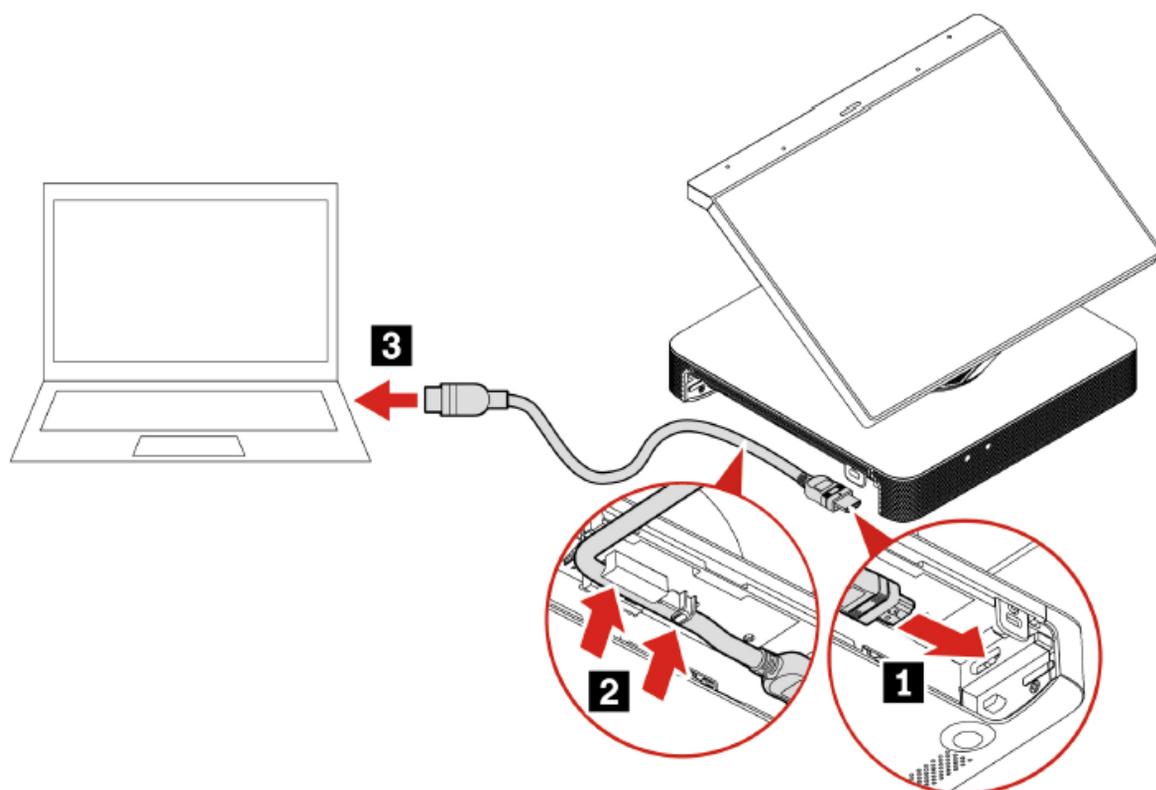
ThinkSmart Managerを利用してプロキシ設定も可能です。詳細は

https://download.lenovo.com/consumer/mobiles/thinksmart_manager_user_guide_jp_20200529.pdf

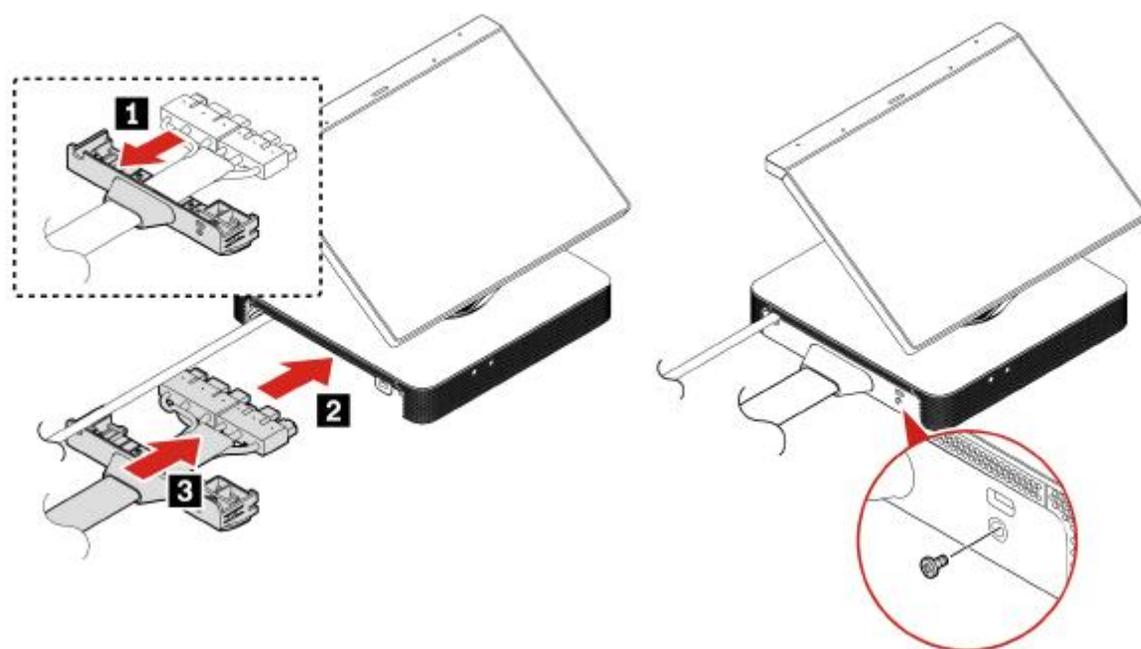
をご覧ください。

第2章 セットアップ

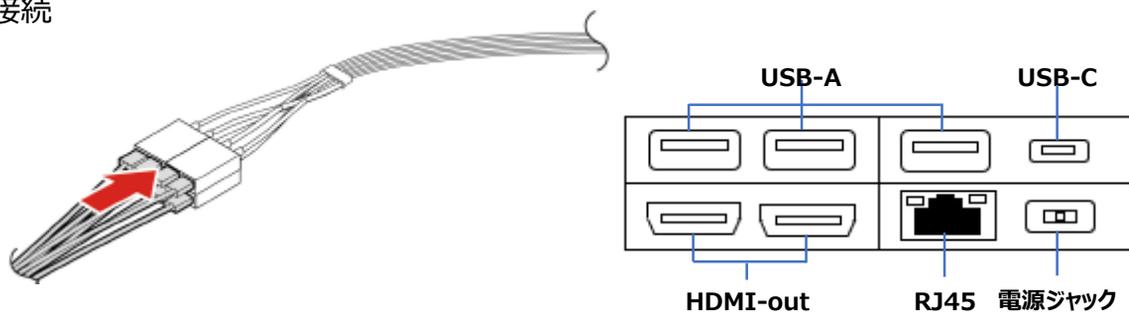
コンテンツ共有用のHDMI（外部入力）ケーブルをThinkSmart Hubに接続



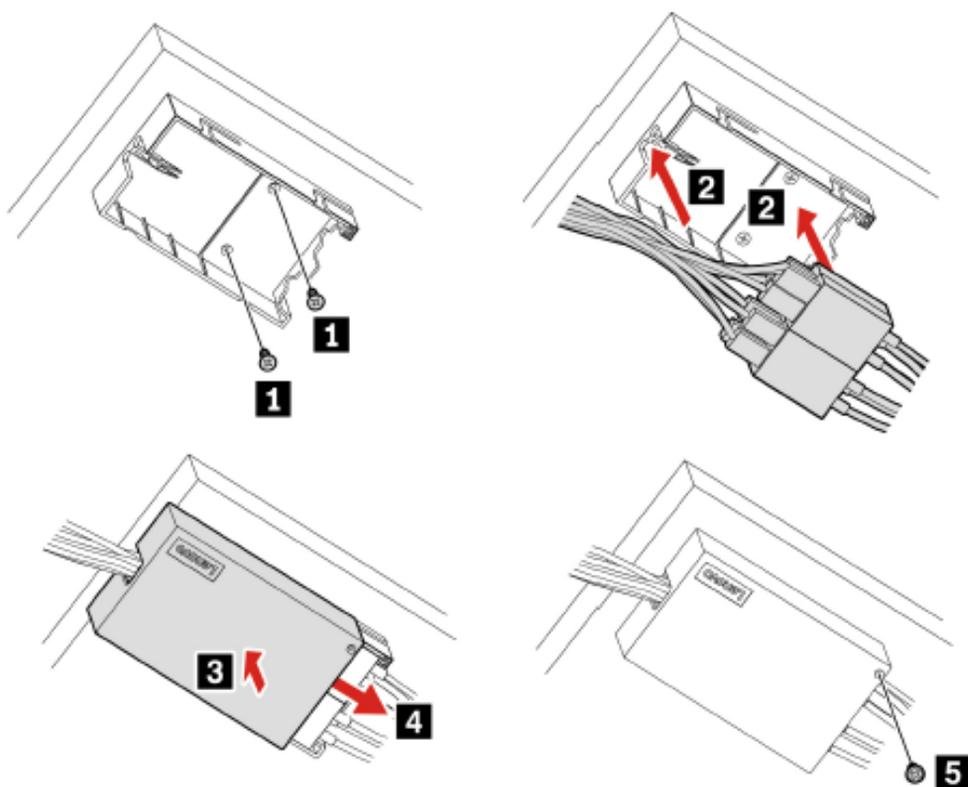
ケーブル管理コネクタをThinkSmart Hubと接続してネジで固定



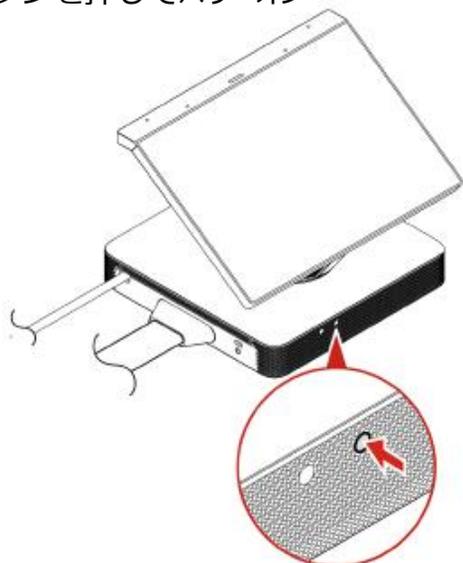
電源、LANケーブル、および会議室ディスプレイ接続用HDMIケーブルなどをケーブル管理コネクタに接続



ケーブル管理コネクタを固定用ケースに固定



電源ボタンを押してパワーオン



第3章 初期設定

3.1 初期設定

起動が完了すると、初回電源投入時にWindows初期設定の画面が表示されます。ThinkSmart Hubの初期設定（OOBE）段階での途中で以下のThinkSmart Managerへのデバイス登録画面が表示され、1)ThinkSmart Managerに登録しないでHubだけで各種設定する方法と2) ThinkSmart Managerに登録して各種設定をする方法があります。

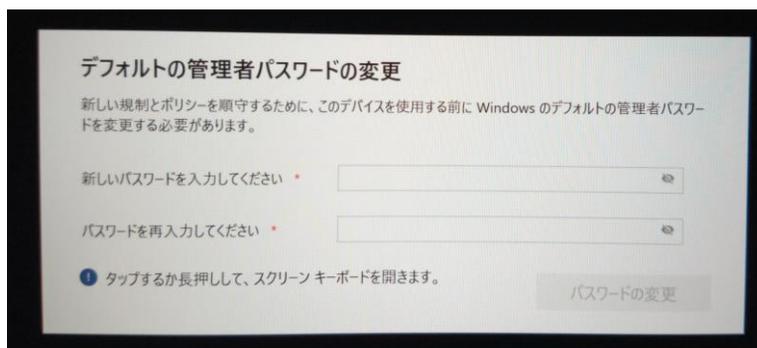
*必ずインターネットにつながるLANに接続した状態にしてください。



方法① ThinkSmart Managerを登録しない場合

デバイスをThinkSmart Managerに登録しない、または後で登録する場合、「今はスキップ（skip for now）」をタッチしてください。

デフォルトの管理者パスワードの変更画面が表示されますので、ここで8桁以上の管理者パスワードを設定してください。



初期設定でデバイス登録をスキップした場合、設定完了後デバイスのシリアル番号を利用してデバイス登録が可能です。

方法② ThinkSmart Managerに登録する場合

ThinkSmart Managerへのデバイス登録画面に表示されたQRコードもしくはシリアル番号を利用してデバイスをThinkSmart Managerに登録することができます。

ThinkSmart Manager利用に当たっての準備事項

1. <https://console.thinksmart.lenovo.com> でLenovo IDを作成します。
2. ThinkSmart Managerのデバイス・リスト <https://console.thinksmart.lenovo.com/devices> を作成したLenovo IDでサインインして開きます。
3. 「+新しいデバイスの追加」をクリックして、HUBを選択、「次へ」をクリックします。
4. 新しいデバイスの追加画面で製品の種類に11H3を選択し、シリアル番号とPINを入力し送信をクリックします。

新しいデバイスの追加

新しいデバイスを申請するには、デバイスがオンでインターネットに接続されていることを確認し、以下の必須フィールドに入力します。デバイス情報は、元のパッケージまたはデバイスの下のラベルに記載されています。

製品の種類*
11H3

デバイスのシリアル番号*
PF2Bxxxx

Windows 管理者パスワード
管理者パスワードの入力

デバイス PIN
.....

クラウドから構成を選好しないでください

「送信」ボタンをクリックすると、MicrosoftのWindows 10 IoT Enterprise に同意したことになります。ライセンス条項。
請求プロセスが中断された場合は、請求セッションが強制終了になるまで少なくとも5分間待ちます。その後、デバイスを再度追加できます。

キャンセル 送信



5. デバイス・リストに未構成のHubが表示されますので、そのデバイスをクリックしていただき、構成タブ内の会議室-施設の情報の、ネットワーク、Windowsの管理者パスワードを設定してください。

情報 構成 更新

会議室

施設の情報

ネットワーク (Network)
会議室名* Hub 11H3 Zoom Room
会議室の場所 Tokyo

ハードウェア
会議室名はデバイス名としても使用されます

Windows
会議室定義* ハードルーム(1~4)

上書き保存

ThinkSmart Managerについて

ThinkSmart ManagerはThinkSmartシリーズ*向けの、設定、管理および監視をリモートで実現可能なクラウド管理コンソールです。

- ThinkSmart Managerは無料でご利用いただけます。一部の機能は別途ライセンスの購入が必要となります。
- 詳しい利用方法などについてはユーザーガイドをご参照ください。

https://download.lenovo.com/consumer/mobiles/thinksmart_manager_user_guide_jp_20200529.pdf

3.2 Windowsアカウント

ThinkSmart Hubでは、工場出荷時に2つのWindows アカウントがあらかじめ用意されています。

会議用アカウント（ZoomRooms）

Zoom Rooms（ZR）アプリが実行されるデフォルトのWindows アカウントです。このアカウントはZR アプリ専用です。ZR を実行するための既定の推奨アカウントで、管理者権限はありません。

メモ：

このアカウントは、OS が起動するとそのままWindows にサインインし、ZR アプリは「ZoomRooms」アカウントで自動起動するようにデザインされています。

管理用アカウント（ZoomRoomsAdmin）

パスワードで保護された、Windows 管理者アカウントです。「ZoomRoomsAdmin」アカウントはThinkSmart Hub のデバイス管理にのみ使用します。工場出荷時のパスワードは設定されていないため、サインインする前にパスワードを設定する必要があります。

メモ：

Zoom Rooms アプリケーションを実行するアカウントは会議用アカウントである「ZoomRooms」です。

第4章 Zoom Roomsアカウントの初期設定

管理コンソールからルームを設定する

1 <https://zoom.us/>に管理者権限を持つアカウントでログインします。



2 左側のメニュー欄の「ルーム管理」に移動し、その中の「Zoom Rooms」をクリックします。「追加ルーム」→ルーム名を入力→「終了」「ルームのパスコード」のポップアップが表示されたら、パスコードを設定し「保存」します。

注: パスコードは1~16桁の英数字です。Zoom Roomsアプリケーションのセキュリティのために使用します。設定変更時やサインアウト時にはZoom Roomコントローラーにこのコードを入力する必要があります。



3 カレンダーをルームに割り当てます。

注: [Office 365](#), [Google Calendar](#), [Exchange](#)三つのカレンダーサービスを利用可能です。詳細設定手順についてはZoomサポートサイトをご参照ください。

第5章 デバイスを最新状態に更新

Zoom Roomsを最新バージョンに更新

◆管理コンソールからZoom Roomsを最新バージョンに更新



1. <https://zoom.us/>に管理者権限を持つアカウントでログインします。
2. 「ルーム管理」→「Zoom Rooms」で、「デバイス」の項目の下で、デバイスを
選択してアップグレード

*コンソールより更新できない場合はインストーラーを利用して更新ください。

◆インストーラーを利用して更新

1. ThinkSmart デバイスで「ZoomRoomsAdmin」にサインイン



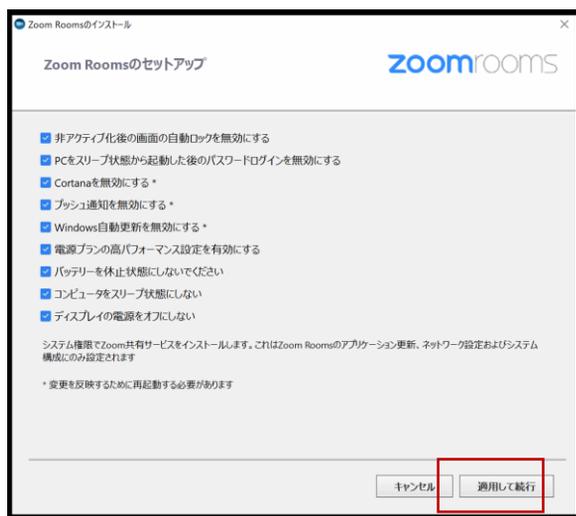
2. ブラウザを開いて、ダウンロードセンター<https://zoom.us/download> より最新のZoom Rooms アプリケーションをダウンロード



3. インストーラーを実行



4. Zoom Roomのセットアップを適応

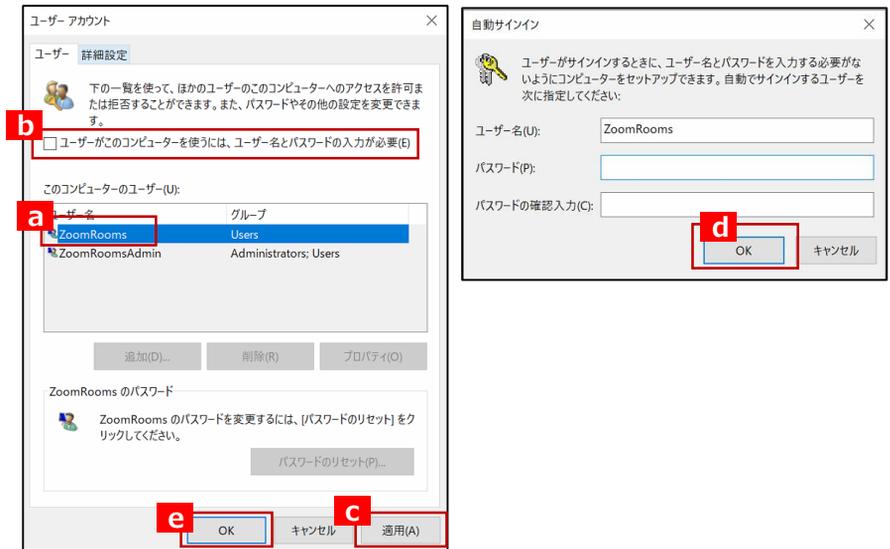


5. システム再起動機能に対してZoom自動ログインを有効化するため、OS上の設定を変更



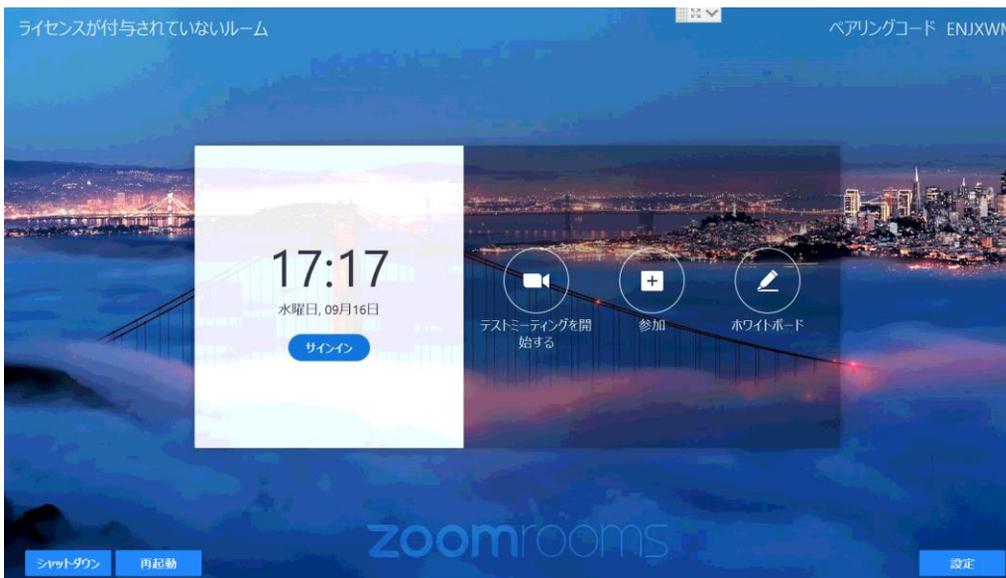
6. 「ZoomRooms」に対して自動ログインを有効化

- 「ZoomRooms」を選択
- 「ユーザーがこのコンピューターを使うためには、ユーザー名とパスワードを入力が必要」のチェックを外す
- 「適応」をクリック
- 「ZoomRooms」のパスワードを入力、なければ空白のまま「OK」をクリック
- 「OK」をクリック



7. アップグレード完了

Windows Updateを実行してデバイスを最新状態に更新



- 右下の「設定」をタップ
- 「Windows設定」をクリック
- 「Zoom Roomsを終了し、Windows設定に移動」のメッセージが表示されたら「続ける」をクリック
- 「ZoomRoomsAdmin」にサインイン
- Windows Updateを実行

第6章 Zoom Roomsにサインイン

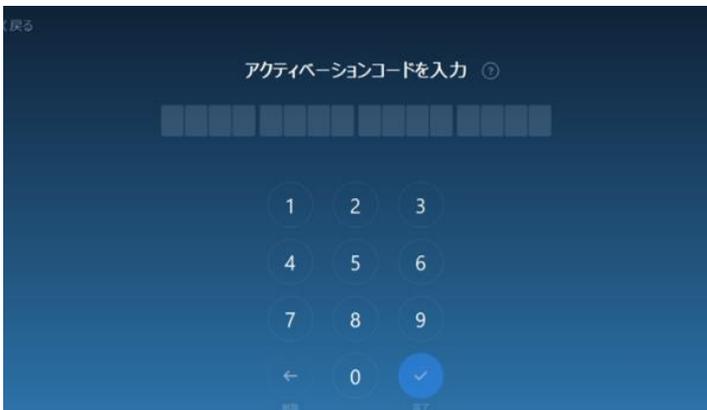
6.1 Zoom Roomsにサインイン

ThinkSmart Hub からZoom Roomsの完全版を利用するには、Zoom Rooms 上でのサインインが必要となります。テスト目的として、Zoom Roomsにサインインしない場合(ライセンスを持っていない場合)、一部の機能しか利用できませんので、ご注意ください。

ThinkSmart Hubで以下のいずれの方法でルームにサインインします。

方法①

「アクティベーションコードを入力」をタップしコードを入力します。



注: アクティベーションコードは管理コンソールにて確認できます。

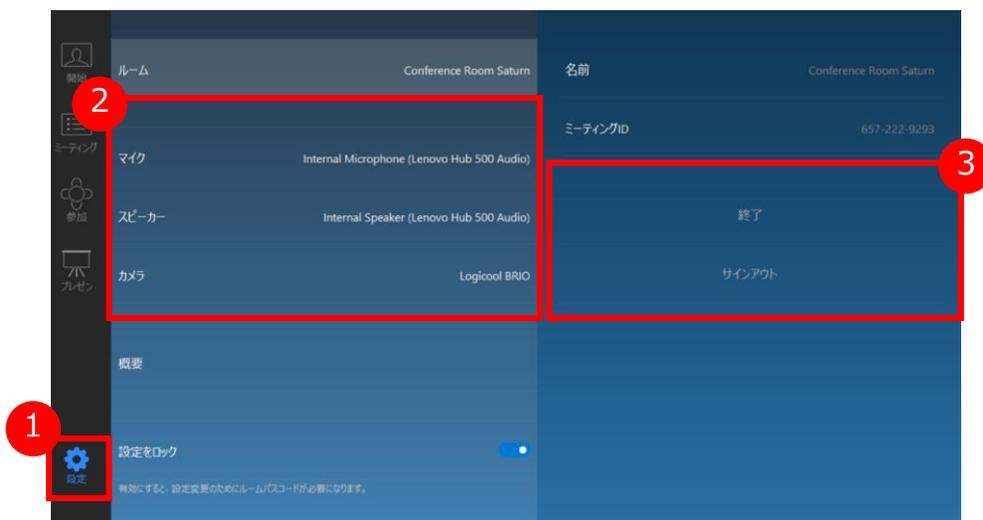


方法②

管理者権限でサインインして、ルームを選択。



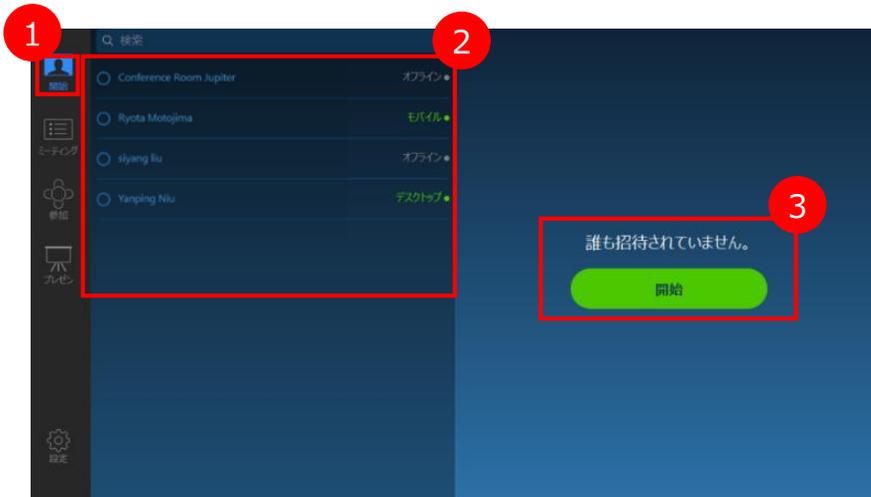
6.2 周辺機器と接続して利用する場合



- 1 メニュー欄の「設定」をタップ
- 2 マイク、スピーカー、カメラ等の設定を変更可能
- 3 該当ルームからのサインアウト、Windows設定、デバイスのシャットダウン、再起動を実施可能

第7章 Zoom Roomsの利用

7.1 インスタント会議を開始



- 1 メニュー欄の「開始」をタップ
- 2 招待したいルームやコンタクトを選択
- 3 「開始」ボタンをタップしインスタント会議を開始

7.2 予約された会議に参加

会議室のカレンダーを更新された場合、
該当アイコンをタップしミーティングリストを更新する



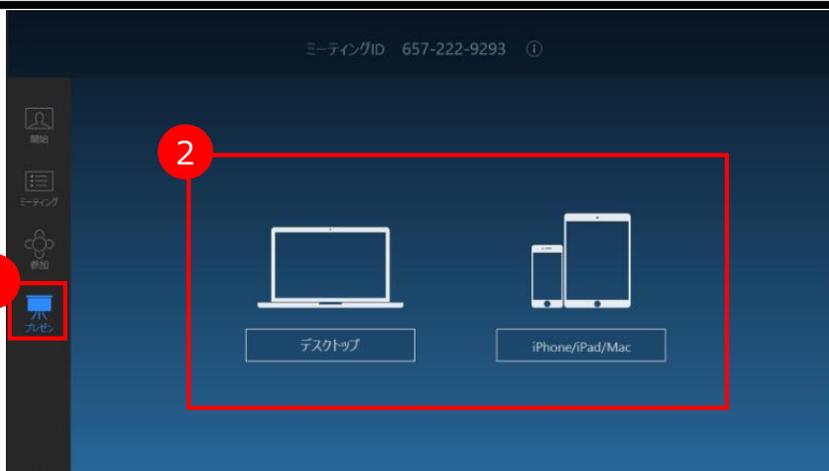
- 1 メニュー欄の「ミーティング」をタップ
- 2 参加したいミーティングを選択
- 3 「開始」ボタンをタップして会議を開始

7.3 ミーティングIDを使って会議に参加設定



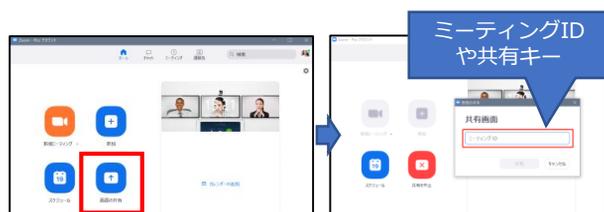
- 1 メニュー欄の「参加」をタップ
- 2 参加したい会議のミーティングIDを入力
- 3 「参加」ボタンをタップして会議に参加

7.4 画面共有



ミーティングIDや共有キーによる画面共有

- 1 メニュー欄の「プレゼン」をタップ
- 2 共有したいデバイスを選択
- 3 「デスクトップ」をタップするとミーティングIDや共有キーが表示される。
- 4 PCやモバイルデバイス側でZoomアプリ上の「画面共有」ボタンを押し、「ミーティングIDや共有キー」を入力する
これで会議に入っていないなくても無線で画面共有が可能になる



超音波ペアリング

前提：

- 1.PC側でマイクをONにしている状態
- 2.PCとThinkSmartは同じネットワーク内
- 3.管理用ポータルで以下の設定を有効にしている状態

<https://zoom.us>

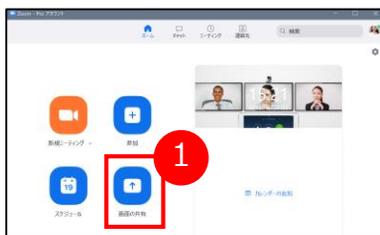
超音波近接信号を使って、自動的に直接共有を行う

Zoom Roomsの参加者が、ミーティングIDや共有コードを入力しなくてもZoom Rooms TVのラップトップ画面を共有することができます



- 1 PC側で「画面共有」を押すとミーティングIDや共有キーを入力する画面をスキップして自動的にPC側のデスクトップの画面が共有される
- 2 このまま会議を行う場合はThinkSmart側で「ミーティングを開始する」をタップ

PC側



ThinkSmart側



HDMIケーブル経由での画面共有

ワンステップ：HDMIケーブルをPCに繋ぐと接続先のPC画面がTVディスプレイに共有される

- 1 会議に入っていない場合
このまま会議を行う場合はThinkSmart側で「ミーティングを開始する」をタップ
- 2 会議に参加済の場合
「コンテンツ共有」ボタンをタップし画面共有を停止できる

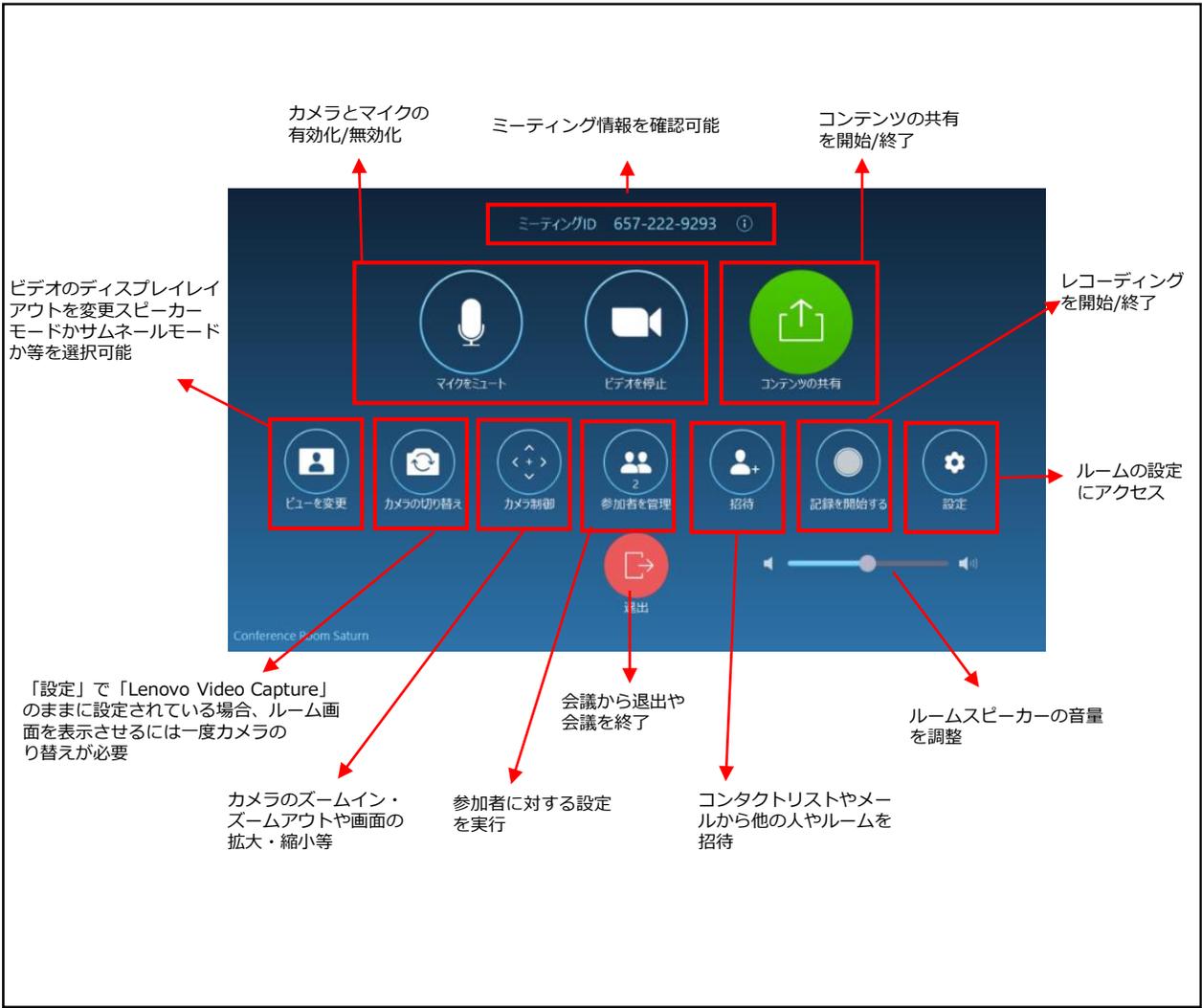
ThinkSmart側



ThinkSmart側



7.5 会議中のコントロール



第7章 デバイスの初期化

システムを初期化する（工場出荷状態に戻す）

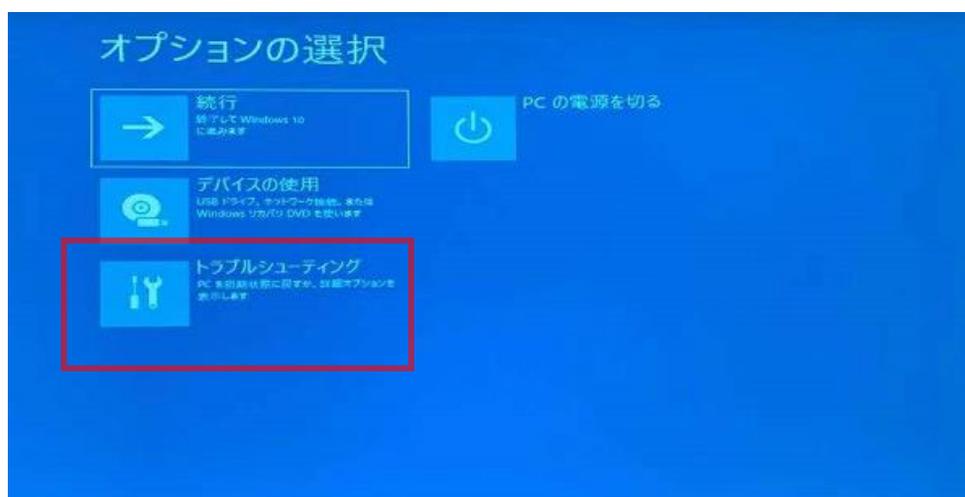
ThinkSmart Hub for Zoom Roomsは、Windows プッシュボタンリセット（PBR）機能をサポートしています。この機能は、ThinkSmart Hub for Microsoft Teams Roomsを工場出荷時の状態に戻します。

USB ポートの1つに外部USBキーボードを接続します。

再起動するか、電源を切り再び電源を入れます。

BIOS POST が開始されたら、すぐにキーボードのF11 キーを連打します。通常のOS起動シーケンスに割り込み、Windowsリカバリー環境が選択できるメニュー画面が表示されます。

[トラブルシューティング] を選択します。

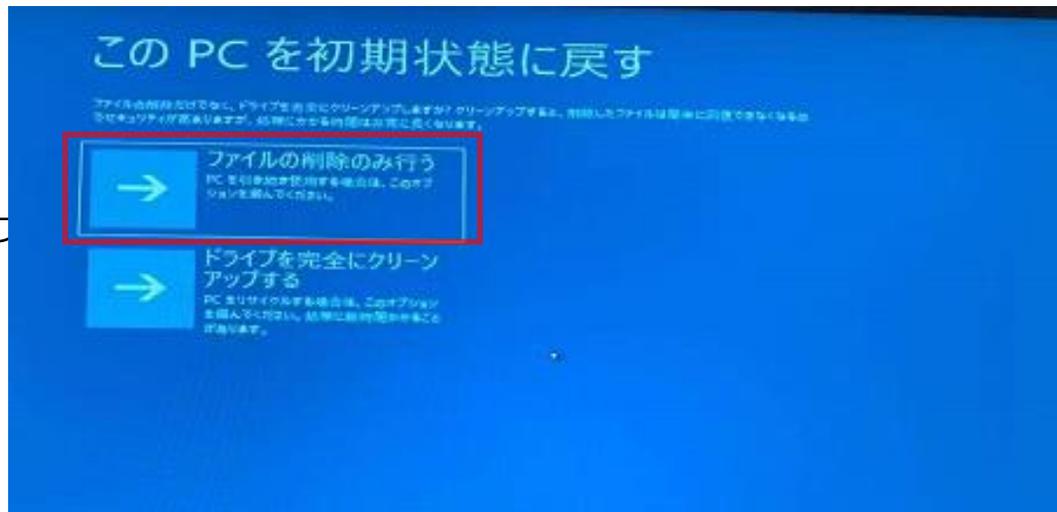
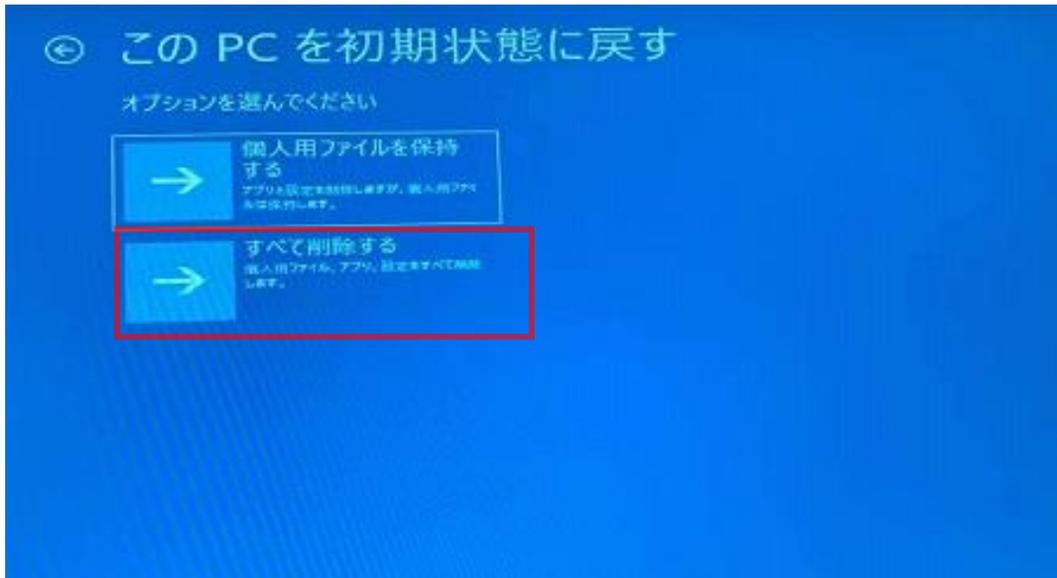


[このPCを初期状態に戻す] を選択します。



[すべて削除する] を選択します。

注： [個人用ファイルを保持する] による回復はサポートされていません。



[初期状態に戻す] を選択します。



ThinkSmart Hub for Microsoft Teams Rooms を工場出荷状態にリセットするプロセスが開始されます。ThinkSmart Hub の電源を切ったり、ThinkSmart Hub を再起動したりしないでください。

リカバリー完了までに数十分かかります。完了すると、ThinkSmart Hubは工場出荷時の状態に復元されます。

7.4 リカバリーUSBキーによるThinkSmart Hubの復旧

1. Lenovo IDを作成

[Lenovo ID sign up](https://passport.lenovo.com/wauthen5/wauth_new/jsp/register.jsp) https://passport.lenovo.com/wauthen5/wauth_new/jsp/register.jsp を開いて、Lenovo IDを作成。Lenovo IDをお持ちであれば、新規ID作成は不要です。

2. リカバリーメディアを申し込み

- Webページ <https://pcsupport.lenovo.com/jp/ja/lenovorecovery> を開く
- シリアル番号を入力「>」をクリック



The screenshot shows the Lenovo website's 'Windows Recovery Media' page. It includes a navigation bar with 'Lenovo', 'ショップ', and 'サポート'. The main content area features a blue header with 'Windows Recovery Media' and two yellow informational boxes. The first box discusses service maintenance notices, and the second box mentions updates to the recovery creator tool. Below this is a section titled 'リカバリーメディアのお申し込みについて (クリックして展開)' with a dropdown arrow. This section contains links for downloading programs for various Windows versions (10 Pro, 8.1 Pro, 10) and a link for 'Lenovo USB Recovery Creator - Windows® 8 以降'. The 'Lenovo USB Recovery Creator - Windows® 8 以降' link is highlighted. Below the links is a section titled 'リカバリーメディアを申し込む' with a progress indicator showing four steps: 1. 資格を確認する, 2. 注文する, 3. 顧客情報を入力, 4. 確認. The '注文する' step is active, and a red box highlights the 'シリアル番号を入力' field, which contains the serial number '09ER9023904' and a blue arrow button. To the right of this field is a section titled '製品名やモデルが分からない場合' with a link 'シリアル番号を検出する' and a note: '製品を自動的にスキャンしてシリアル番号を検出すると特徴を詳しくできます'.

c. マシンタイプを再確認、「国/地域」および「OSの言語」を選択して、「保証ポリシー」を確認した上で、同意であれば「同意します」をチェックして、「次へ」をクリック

1 資格を確認する 2 注文する 3 顧客情報を入力 4 確認

ご依頼内容詳細

部品番号 5R30W05835

シリア...	マシンタイプ	オペレー...	国 / 地域	OSの言語を...	メディアの...
YH0107U E	10V5	Win10IoT CBB	日本	Japanese 希望するOS言語は ありません	ダウンロード

同意します 保証ポリシー キャンセル 次へ

d. お客様情報を入力して、「送信」をクリック
メールアドレスは「Lenovo ID」を入力ください。

お客様情報

* 名 (例:太郎) * 姓 (例:レノボ) * 国 / 地域

太郎 レノボ 日本

* E-Mail Address (例 : tarolenovo@lenovo.com) * メールアドレスの確認 (例 : tarolenovo@lenovo.com)

tarolenovo@lenovo.com tarolenovo@lenovo.com

キャンセル 送信

e. 下記のような申し込み完了のメールが届く



3. リカバリーUSBキーを作成

a. リカバリーメディア申し込みページで、「ダウンロード」をクリックして、USBリカバリー作成ツール用アプリをダウンロード

注文の概要

Order ID:bb034d00-a764-4a16-b733-ec61de0eb55a				部品番号 5R30W05835		
	シリア... YH0107U E	マシンタイプ 10V5	オペレー... Win10IoT CBB	国 / 地域 日本	OSの言語を... Japanese	メディアの... ダウンロード

名 (例:太郎)
Ye

姓 (例:レノボ)
Guo

国 / 地域
日本

E-Mail Address (例 :
tarolenovo@lenovo.com)
guoye2@lenovo.com

戻る

b. USBRecoveryCreator  がダウンロード完了しましたら、アプリをダブルクリックして起動

c. リカバリー・ファイルをダウンロードしてリカバリーUSBキーを作成をクリック



d. Lenovo IDとパスワードを入力して、サインイン



e. 「次」をクリック。



e. 場所を選択して「ダウンロード」をクリック



f. ダウンロード完了したら、USBを挿入して「次」をクリック



f. USBを確認して「次」をクリック



f. リカバリーUSBが作成されるとUSB上のデータが削除されることをご了承の上で「はい」をクリック



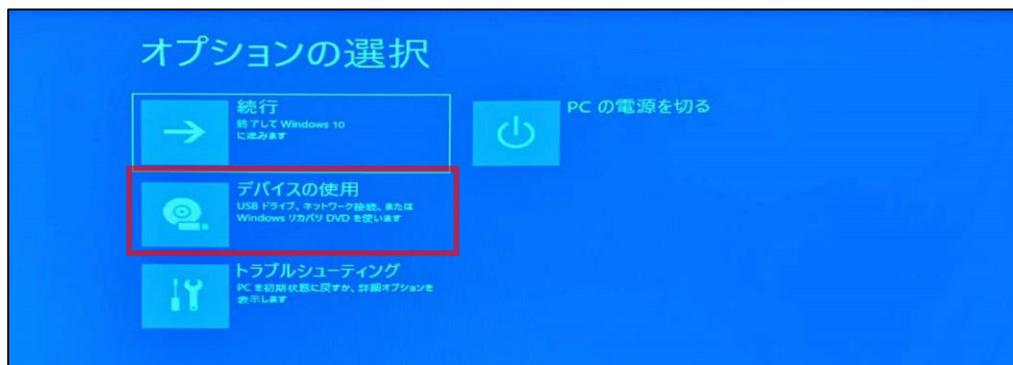
- e. 下記のメッセージが表示されたら、USBキーが正常に作成されました。
「はい」もしくは「いいえ」をクリックして、USBをPCから取り外してください。



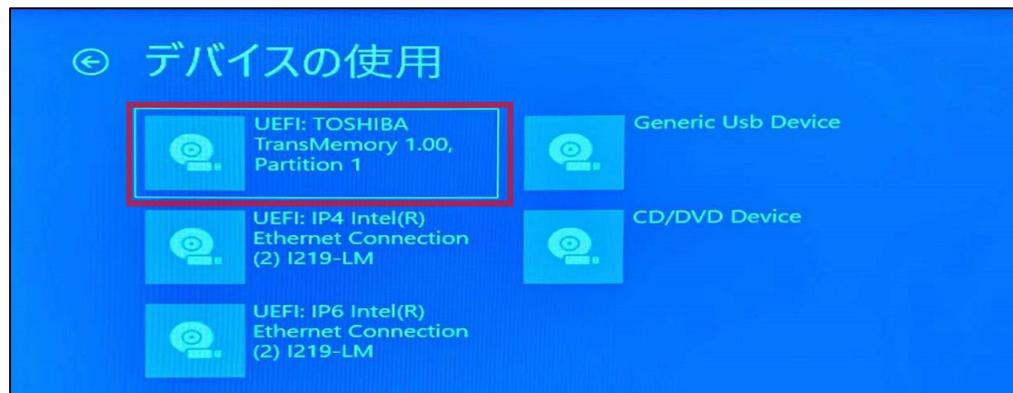
4. ThinkSmart Hubをリカバリー

1. 作成したUSBキーをThinkSmart Hubに接続し、
USB ポートの1つに外部USBキーボードを接続
2. 再起動するか、電源を切り再び電源を入れます。
BIOS POST が開始されたら、すぐにキーボードのF11 キーを連打します。
通常のOS起動シーケンスに割り込み、Windowsリカバリー環境が選択できる
メニュー画面が表示されます。

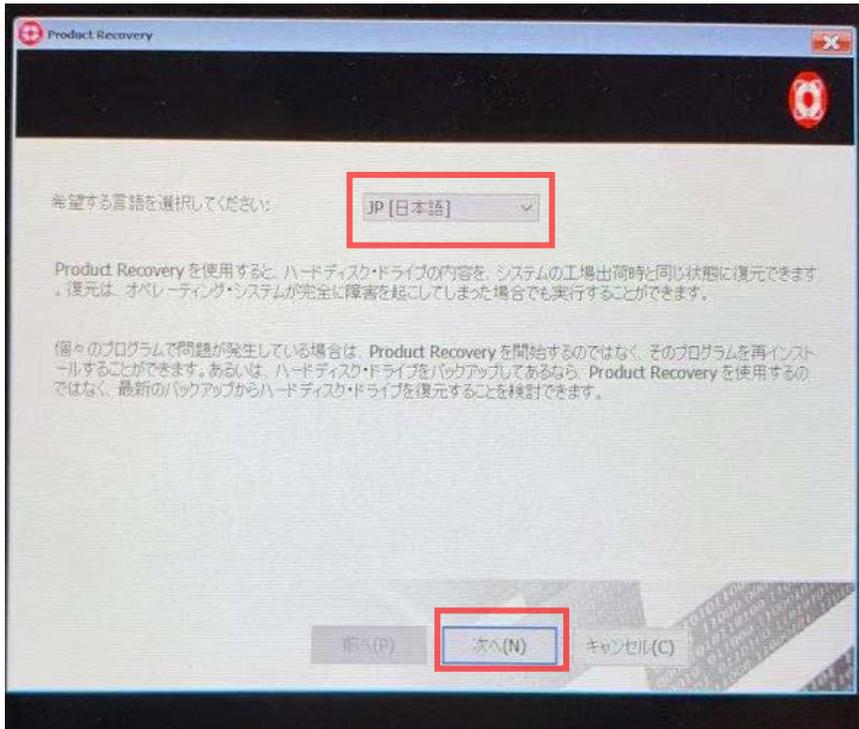
[デバイスを使用] を選択



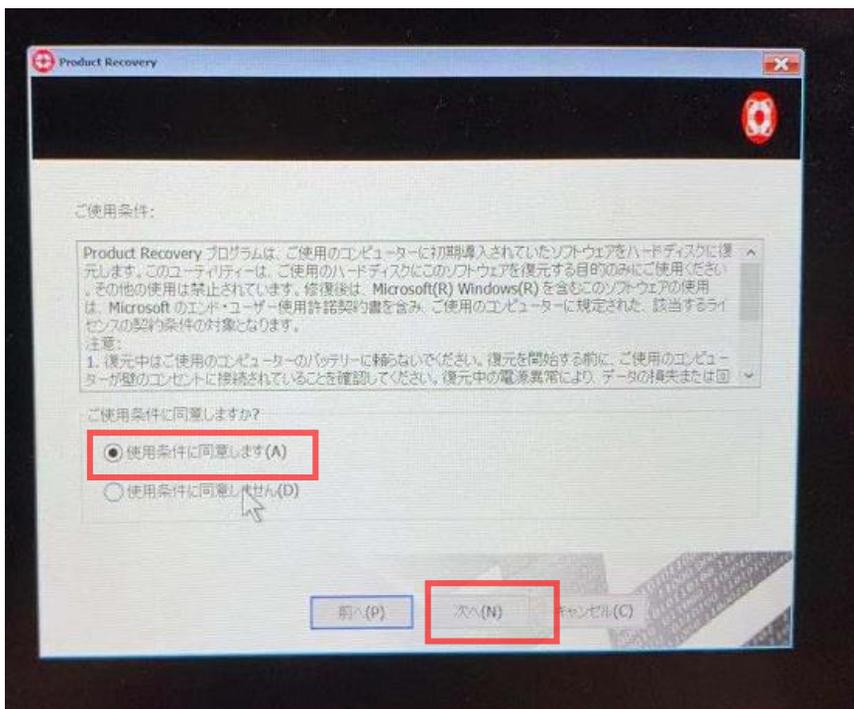
作成したUSBメモリを選択



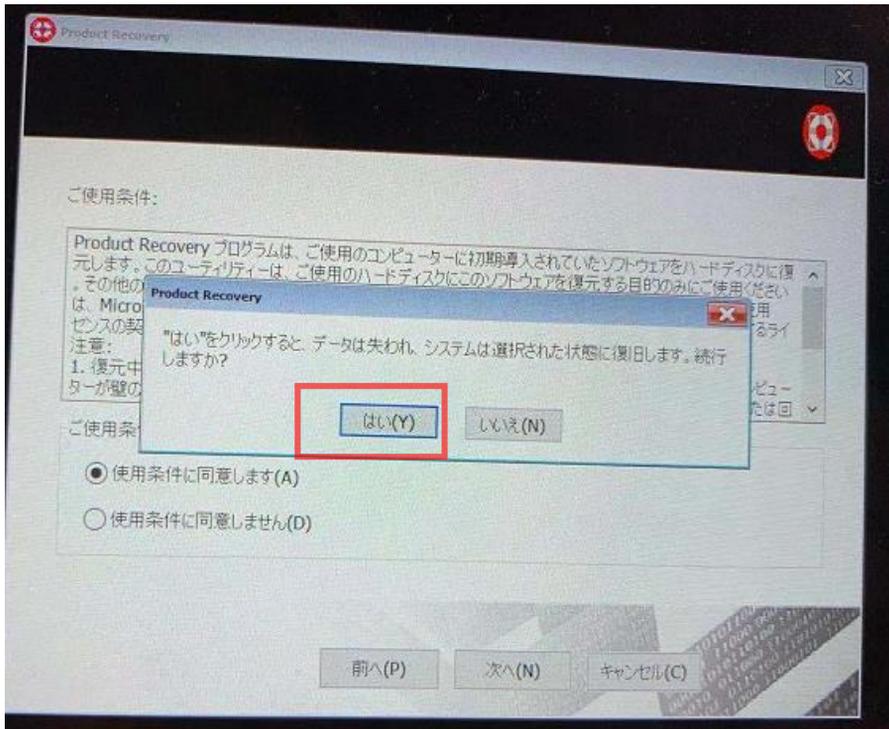
3. 希望する言語を選択して、「次へ」をタップ



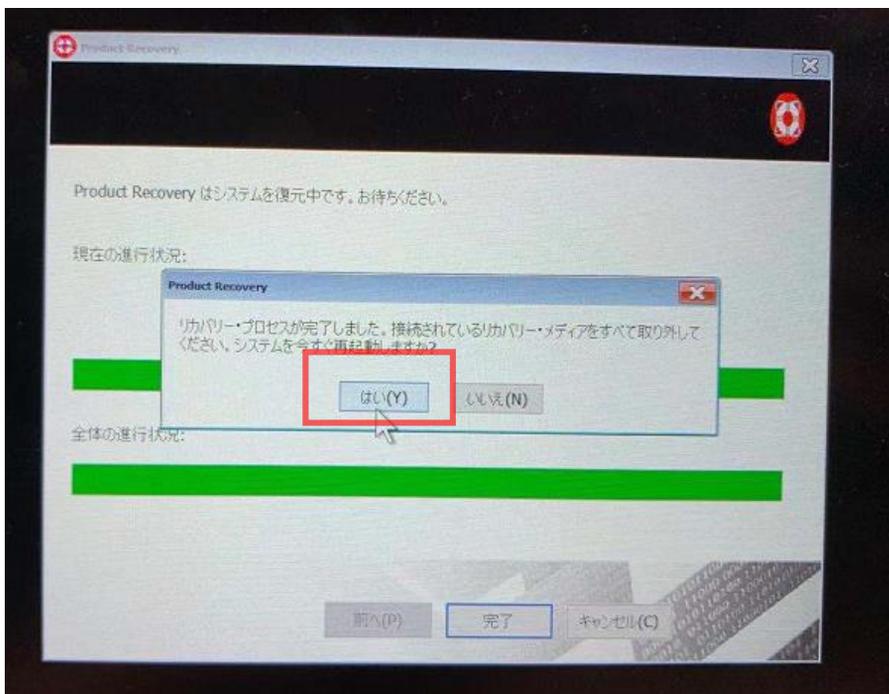
4. 「ご使用条件」を確認して、「使用条件に同意します」前のチェックボックスをチェックして、「次へ」をクリック



5. 「はい」をクリック



6. リカバリー準備完了後、下記の画面が表示されます。USBメモリを取り外して「はい」をクリック



**Smarter
technology
for all**

Lenovo